

科 目 名

博物館概論

Introduction to Museology

3年 前期 2単位

高 濱 州 賀 子

概 要

近年行われた、いわゆる構造改革と呼ばれる公営組織の法人化・民営化は、我が国の教育・医療・文化・スポーツなどの広い分野で大きな変革をもたらしている。例えば2001年度から始まった国の行政改革は、大学や国立博物館等を独立行政法人に組織替えした。また地方公共団体では2003年度より指定管理者制度を発足させ、公の施設の運営を営利企業や財団法人等に代行させることが可能になった。これ以降、公立博物館・美術館では、例外なく制度改革の検討を迫られ、指定管理者制度を採用する施設も出てきている。

以上のような制度変革を危機的なものとして捉えたうえで、公立・私立を問わず、これまで博物館が設立され運営されてきた歴史を振り返り、その果たしてきた役割と、これから社会で果たすべき使命を検討していきたい。

目 標

博物館の本来的な姿に立ち返り、今日の情報化社会における存在意義を問い直していく。これからは様々な雇用形態で働くことになる若い学芸員が博物館の基本的理念を理解することを目標とする。

授業計画

テ ー マ	内 容
1 博物館の歴史	世界史における博物館の誕生とその変遷を歴史的に辿る。
2 博物館の種類	人文系・自然史系、あるいは歴史系・美術系など、取り扱う資料で大きく異なる博物館を分類、特色を解説。
3 博物館法など	社会教育法、博物館法、文化財保護法などを解説。
4 博物館の役割	人類の文化遺産の保護に止まらない教育的役割を解説。
5 社会と博物館	情報化社会における博物館、地域社会における博物館など。
6 今日の問題点	独立行政法人・指定管理者制度などの問題点と実際を検討。

評価方法

定期試験と授業中に与えた課題についてのレポートにより判定する。

教 材

授業のなかで適宜紹介する。

履修上の注意点

授業への出席と博物館・美術館見学のレポートを重視するので、積極的な参加を期待する。